



Der Brückenpfeiler

2025 年 11 月



Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です

公益財団法人 日独協会 情報紙

Japanisch-Deutsche Gesellschaft

2025 年 11 月 1 日発行（不定期発行）

編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館

Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2

TEL 03-5368-2326 / FAX 03-5368-2065

Website : <http://www.jdg.or.jp> Mail : jdgc@jdgc.or.jp

日独協会からのお知らせ

* 「クリスマスの集い」開催

毎年恒例の「クリスマスの集い」。今年は 12 月 8 日(月)の夜、日立目白クラブにて開催いたします。今年もジグメント大使や東原会長とともに、皆さんと心あたたまるひと時を過ごせればと考えております。詳細、お申込方法等は同封のチラシやウェブサイトをご覧ください。

* 2025 年度 ドイツ語講習会下半期コース

日独協会のドイツ語講座は年 2 学期制。秋から下半期コースが始まりました。協会にはドイツ語ネイティブ講師、日本人講師がおり、それぞれの長所を活かした授業を行っています。ほとんどオンラインの開催です。満席になっていないクラスに関しては、学期途中からの受講や体験も可能です。詳しくはお問合せください。

* メラニー・シェーファーさん研修開始

10 月 1 日からメラニーさんの研修がはじまりました。来年 3 月末までの半年間、協会のイベントや業務をお手伝いいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。メラニーさんのインタビュー記事を本紙に掲載しています。

* ドイツフェスティバル 2025

今年もドイツフェスティバルが、10 月 31 日(金)から 11 月 3 日(月)まで都立青山公園で開催されます。日独協会は、11 月 1 日(土)にドイツ大使館のブースをお借りして出店いたします。ドイツ関連団体、ドイツ飲食店、雑貨店等のブースが立ち並び、音楽プログラムやワークショップも行われるフェスティバルです。ぜひお立ち寄りください。開催時間・出店者等は公式サイトでご確認ください。 <https://www.deutschlandfest.com/>

* 会報誌 Die Brücke への投稿募集！

1990 年の東西ドイツ統一から 35 周年の今年、Die Brücke では、ベルリンの壁崩壊と統一にまつわる会員の皆様からの投稿を募集しています。統一前後のドイツでの体験、知人や友人の反応、統一後の変化を感じた瞬間など、皆様の体験や感想をお待ちしております！投稿は複数号に分けて掲載予定です。投稿は 300 文字以内で協会のメールアドレス jdgc@jdgc.or.jp 宛てに、または右の QR コードを読み取った先の専用投稿サイトからお送りください(文字数についてはご相談いただくことも可能です)。メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください。(誌上での掲載名はイニシャルでも可)。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。



* 事務局の冬休み

12 月 22 日(月)から 1 月 5 日(月)まで事務局は年末年始で休業いたします。

月とワインと旅語り

9/12 (金) 18:30~21:00

Unter dem Mond – bringt eine Flasche deutschen Wein und eure Reisegeschichte mit

Datum: Fr., 12. 9. 25, 18.00-20.00

ドイツ観光局広報マネージャーの大畑悟さんからの持ちかけで、今回はじめて「ワインピクニックをしながら旅の思い出を語る」イベントを開催しました。大畑さんはお仕事柄、講演会などでドイツ観光のお話をされることがあり、そういった際に参加者の方からご自身の旅の思い出話をお聞きすることが多く、それがとても面白いので、旅の思い出やエピソードを語り合う会をやってみよう、と今回のイベントを思いついたそうです。

当初は野外で開催予定でしたが、天候等の理由で事務所内での開催となりました。それでも部屋の中にレジャーシートを敷いて、照明も落としてランプをつけ、ドイツの風景を壁に映写するなど、少しでもピクニックの気軽な雰囲気でお話いただけるよう工夫しました。



持ちよられた、たくさんのワイン

その日集まったのは約 20 名。ドイツワインだけでなく、手作りのパン、おつまみを持ち寄ってくださる方もいて、次第に「ワインピクニック」の雰囲気に。

大畑さんからご挨拶や会の趣旨の説明のあと、早速一人一人に旅のエピソードをご披露いただきました。皆さんの話を聞いていると、旅でのトラ



旅の思い出話に耳をかたむける参加者たち

ブルや失敗のエピソードも時間が経てば貴重な体験談となり、その際にどう対処したか、困っている時に現地の方々に親切にしてもらったこと、助けてもらったこと、などが心に深く残るのだなあと感じました。話を聞いている間にも、次々にワイン瓶がまわっていきます。

東西ドイツ分断時代の西ベルリン訪問の思い出、ハルシュタットで出会った親切な女性の家に宿泊することになったエピソード、ドイツの小学校で生徒たちが日本語で「さくら」を歌ってくれて感動したこと、サッカーBundesligaでのファンの乱闘騒ぎ、など、自分ではなかなか体験することのない旅のエピソードをお聞きし、一緒に旅をしたような気分になりました。ドイツワインを輸入する仕事をされていた方からは、その醸造所のワインをおもちいただき、エピソードを味覚でも楽しむことができました。一通り皆さんのエピソードをお聞きした後は、自由な歓談タイム。話は尽きることがなく、予定時間を大幅にオーバーし、なごみを惜しみながらの閉会となりました。

菊池 菜穂子 (日独協会職員)

ドイツ語講習会 2025 年度上半期コース

月～日曜日

Deutschkurse in der JDG, April 2025 - September 2025
jeden Mo.-So.

独逸塾

9/15 (月) 19:00~21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 15. 9. 25, 19.00-21.00

1. テキストは 2025 年 3 月 2 日 Wirtschafts Woche 誌より „Rettet der EU-Deal die deutsche Wirtschaft, Herr Südekum?“

(1) 循環経済の重要性

資源依存、特に中国への依存を減らすため、EU 内で既存製品を再利用する循環経済が必要。2030 年までに EU での原材料の 24% は循環経済で使用されるべきである。

(2) Buy European で米中に対抗
自国産業保護政策に戸惑う必要はない。

(3) 財政政策と気候投資
必要な気候投資 (年 30~50 億ユーロ) を行うべき。
2. テキストは 2025 年 2 月 15 日 SPIEGEL 誌より „Die Beschleunigung der »Kill Chain«“

(1) 防衛産業への AI の利用

AI の投入により戦争が変化し、世界の勢力関係に変化を及ぼしている。ドイツの防衛産業のスタートアップ企業が既存の戦車、ロケットを製造する大手企業に挑戦している。

A) ドイツ政府は来年 4,800 人の兵に AI 機能を装備してリトアニアに派遣することを決定した。

B) AI を装備したスタートアップ企業 Anduril、Helsing、Quantum-Systems は既存大手企業 Rheinmetall 等に挑戦し、予算分捕り合戦となっている。

C) ドイツ政府は防衛費として 1,000 億ユーロの特別基金を創設した。

D) ドイツ政府は国防軍のサイバーおよび情報技術を担当する Chief Information Officer を創設した。

ドイツ語の表現をめぐる活発に議論が交わされた。

(森永 成一郎)

夏祭り

9/17 (水) 18:00~20:00

ドイツ大使公邸

Sommerfest

Residenz der Botschafterin

Datum: Mi., 17. 9. 25, 18.00-20.00

このイベントのレポートは会報誌 12 月号に掲載予定です。

ドイツ時事問題研究会 第 113 回

9/20 (土) 15:00~17:00

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (113)

Datum: Sa., 20. 9. 25, 15.00-17.00

1. 今月の主なトピックスは、①公共調達の対象を産業別労使協定の参加企業ないしはそれと同等の労働条件の企業に限定する労使協定遵守法案の閣議決定、②48%の年金水準を維持し、上昇抑制条項を停止するほか、子供を育てた母親に対する割増年金の対象を拡大する年金パッケージの閣議決定、③兵員を 18 万人から 26 万人に増強するため、当初は志願をベースとし、必要な場合は連邦議会の同意を得て兵役義務制を挿入する兵役法案の閣議決定、④再生可能エネルギーが拡大する一方で減少する電力消費と今後のエネルギー政策の行方などについて報告し、質疑応答を行った。

2. 今月のテーマは「トランプ関税ードイツ自動車産業への影響」として、新井世話人から報告。米国での現地生産が多く、米国の自動車輸出で第 1 位を占める BMW、現地生産のないアウディ、ポルシェなどの動向を解説し、日本と比較した影響の大きさなどについて参加者の間で活発に議論した。

(新井 俊三)

シュプラッハトレフ (日独言語交換会)

9/20 (土) 19:00~20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 20. 9. 25, 19.00-20.40

参加者約 40 人。夏休み明け後 1 回目の Sprachtreff でしたので「夏休みをどう過ごしたか」と「映画・ドラマ・テレビ番組」についてをトークテーマとしました。このテーマは、あくまでも運営チームからの提案で、テーマにこだわらず自由にお話しただいても、

もちろん大丈夫です。グループ内での会話がスムーズに進むように毎回いくつかのテーマを提案しています。

終了後のアンケートでは、「ドイツの方々の生の意見がきけた」、「少人数でたくさん話せたし、皆さんの話を聞くのもとても勉強になった」、「サポーターの方に助けていただきスムーズにコミュニケーションできた」、「テーマについて深く話すことができた」といった満足のコメントをいただきました。

事前に参加者に配布している語彙リストについても「非常に便利」と好評でした。語彙リストは Anki というアプリにも登録していますので、復習にも使えます。今回は研修生セルマさんが担当者として参加する最後の Sprachtreff でした。研修終了後にも参加してくれる元研修生は多くいますので、セルマさんにもまたぜひ顔を出してもらえたらうれしいです。次回からは 10 月からの新研修生メラニーさんが担当します。

懇談会サロン

テーマ「ゲーテの詩による歌曲 —ブラームス作曲作品を対象に—」

9/29 (月) 18:00~19:30

日独協会セミナールーム

Gesprächssalon

Thema: „Lieder nach Gedichten von Goethe“

Datum: Mo., 29. 9. 25, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG

講師：横山淳子先生（日本大学文理学部ドイツ文学科准教授）

参加者 18 名。ゲーテと音楽の関わりを中心に研究されておられる講師に、作曲家ブラームスとゲーテの関係についてお話を伺った。ブラームスは、ゲーテの詩から少なくとも 17 曲を作曲している。民謡は民衆の生の声の記録であり、ドイツ文化の基層をなすものである。ゲーテは民謡集に強い関心を示し、民謡が文学的にも評価されることで、後の芸術歌曲への橋渡しの素材となった。ブラームスは多くの民謡テキストとメロディに新たな伴奏を付けて民謡集を編纂し、晩年に完成した「49 のドイツ民謡集」はその集大成に位置づけられる。これは単なる収集ではなく、49 曲を物語性を持つように配列し、連続性を意図的に構築したものであった。ブラームスが選んだゲーテの詩は、シューベルトの有名曲（魔王、野ばら）に用いられた詩とは異なり、死生観、自然と人生、運命、宗教（信仰・祈り・救済）が中心であった。（木田 宏海）

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。



研修生メラニー・シェーファー (Melanie Schäfer) さんインタビュー

10月から来年3月までの研修生メラニーさんにインタビューしました。メラニーさんは自分が好きなこと、興味のあることについて目をキラキラと輝かせながらお話ししてくれました。すでにインスタグラムでは、出身のヘッセン州の方言を紹介するシリーズを始めていただいています。お散歩やカフェ巡りが好きなメラニーさん、これから研修の半年の間に、たくさんの素敵なことを発見しそうです♪

出身

バイエルン州 (Bayern) に近いヘッセン州 (Hessen) のハーパースハウゼン (Harpershausen) という小さな村の出身です。本当に小さな村なので、住んでいる人はみんな知り合いです。お出かけする時は、よく近くのダルムシュタット (Darmstadt) に行っていました。ダルムシュタットではユーゲントシュティールの建物をたくさん見ることができます。



私の故郷の村

日本との出会い

中学校にアジアクラブがあって、そのクラブの先生は日本が好きでした。半年間そのクラブで盆栽や日本の文字「かな」、料理について学んで、日本に興味を持ち始めました。その後14歳の時に、ミュージカル「エリザベート」の動画をYouTubeで探していて、宝塚歌劇団の動画に出会いました。美しいタカラジェンヌさんたち、衣装、舞台、すべてに一気に魅了されてしまいました！もっと宝塚について知りたいと思いましたが、全部の情報が日本語だったので、真剣に日本語を学ぶことにしました。最初は中学校の先生に教科書を借りて、それから市民大学の日本語講座に通ったりしました。

宝塚

高校生になってから、2015年と2016年の夏に福岡で、1か月間日本語学校の夏期講座に通いました。学べば学ぼうと、宝塚のことや劇中のセリフもわかるようになり、わかるようになると、もっと勉強へのモチベーションが上がりました。2016年に、ホームステイ先のお母さんが「宝塚を観にいかない？」と誘ってくれて、夏期講習会の最後の日に一緒に夜行バスに乗って念願の宝塚へ。演目はなんと「エリザベート」でした！はじめての宝塚は全てがまるで夢のようでした。その時、宝塚駅の近くのカフェで食べたシナモントーストは天国の味で、今でも訪れると必ず食べます(笑)。その後、大学時代に京都に1年留学したのですが、もちろん宝塚にも通いました。地方公演にも遠征して、今までで40回くらい観劇しています。宝塚のおかげで日本語能力試験でも「聴解」の点数が一番いいんですよ(笑)。



Tea House Sarah のシナモントースト

大学生活

高校を卒業したあとは、チュービンゲン大学で日本学と社会学を学びました。日本学では日本語や翻訳の授業があり、小説「君たちはどう生きるか」の文章を翻訳したりしました。社会学では、日本社会について学びましたが、私は特にジェンダーの問題に興味があります。日本学を学ぶ学生の興味はさまざまで、アニメ、アジアの政治、日本酒や日本のロックなどに興味を持つ人がいました。大学では日本学の生徒会に所属して、遠足を企画したり、留学生の相談にのったりしましたが、コロナ禍になり対面で会うことができなくなり、とても残念でした。勉強以外では、アイス屋でアルバイトもしました。ドイツでも物価がどんどん上がって、学費や生活費もあがっているのでも、アルバイトをする必要があります。そのアイス屋で私のお気に入りの味は「ヨーグルトすいか」です。ちょっと変わった味で、好き嫌いがわかれますが、私はこれが一押し(笑)！



2024年宝塚にて。「ベルサイユのばら」のオスカルとアンドレ像と。

京都

2022年4月から京都の同志社大学に1年留学しました。授業以外では鴨川沿いの散歩やカフェ巡りを楽しみました。ある日、歩いていると偶然、猫がいるカフェを見つけました。「猫カフェ」ではなくて、「猫がいるカフェ」。少しレトロな雰囲気、猫も店内でのんびりしています。そこが気に入って何度も通いました。留学が終わってからしばらくして再びそこを訪れた時、お店の人が「おかえり」と言ってくれたのがとてもうれしかったです。京都の大事な懐かしい場所です。



京都のカフェ ヒベリカムのあるちゃん♡

研修期間にやりたいこと、会員の皆さんへ

今までの経験を通じて思うのは、自分が選んだ道が100%正しいかはわからなくても、行きたいと思う方向に進んでいけば何かを見つけることができる、ということです。

今回の研修では、いろいろなイベントを手伝ったり、会員の方々のお話を聞いたり、ドイツ文化について話したりすることを楽しみにしています。研修以外では、いろいろな温泉にいたり、カフェ巡りをしたり、猫がいるカフェを見つけたりしたいです。もちろん宝塚もたくさん見に行きたいと思っています！

皆さん、半年間どうぞよろしくお願ひいたします。

(インタビュー：菊池 菜穂子)

(公財)日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

※ いただいた個人情報はイベント開催に関する手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はウェブサイトでもご覧頂けます。■ <http://www.jdg.or.jp>

問合せ E-mail : jdgc@jdgc.or.jp Tel. : 03-5368-2326 (月～金 14:00～17:00) Fax. : 03-5368-2065

◇(対面)ドイツフェスティバル出店◇

会期：2025 年 10 月 31 日(金)～11 月 3 日(月)※協会の参加は 11 月 1 日(土)のみ 日没まで

会場：都立青山公園 多目的広場 南地区グラウンド

ドイツ製品や飲食ブースが立ち並び、ステージプログラムやワークショップも予定されています。協会は会期中、11 月 1 日(土)のみドイツ大使館のブースを一部お借りして出店し、初企画「グリム童話キャラ診断」と「あなたのお名前(街)ドイツ語にします」コーナーほか、オリジナルグッズの販売等を行う予定です。ぜひお立ち寄りください。

◇(対面)懇談会サロン テーマ「ドイツと日本の移民・難民政策の比較」(開国する日本/引き締めへ傾くドイツー半世紀の移民・難民政策)」◇

講師：滝澤 三郎先生(東洋英和女学院大学名誉教授)

日時：2025 年 11 月 10 日(月) 18:00～19:30 申込期限：11 月 7 日(金)

会場：日独協会事務所内セミナールーム 定員：24 名

会費：(公財)日独協会会員 500 円 一般 1,000 円 ※ 当日集金いたします。

世話人：佐藤 勝彦 理事

申込み：お名前、(公財)日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の佐藤理事までメールでお申込みください。世話人連絡先：s-kmtaym(a)nifty.com ※ (a)は@に書き換えて下さい。

日独の移民・難民政策の大きな流れを、安全保障・市場・人権・文化の四視点で比較し、制度が振り子のように変化してきた構造をデータと制度史から読み解きます。ドイツは、AfD 台頭、国境管理・給付制度の見直し、外部化など管理強化の局面にあり、日本では参政党の伸長に見られるように、社会の警戒感も顕在化しています。両国の動向が持つ国際的含意を整理し、日本向けの政策オプションを考えます。

◇ドイツ時事問題研究会◇

日時：2025 年 11 月 15 日(土) 15:00～17:00 申込期限：開催 2 日前まで 会費：無料

テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ(複数可)を決定 定員：20 名

世話人：伊崎 捷治 理事、新井 俊三 氏

申込み：事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

世話人連絡先 Tel. : 080-1137-5111 E-mail : [isakis\(a\)snow.ocn.ne.jp](mailto:isakis(a)snow.ocn.ne.jp) ※ (a)は@に書き換えて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野に関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて討論しましたが、これからもコロナ危機の克服、経済活性化、ドイツが EU の強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを採りあげていきます。

◇Sprachtreff (シュプラッハトレッフ)◇

日時：2025 年 11 月 15 日(土) 日本時間 19:00～20:40 ドイツ時間 11:00～12:40

会費：(公財)日独協会会員：無料 / 一般：2,000 円 定員：50 名程度

担当：メラニー・シェーファーさん、芦野 淳子さん

参加条件：語学交換を積極的に楽しみたい方(目安レベル：A1.2 以上)

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している語学交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で 40 分程度ずつおしゃべりをします。(上級はテーマと言語の時間指定はありません)。また、B1 レベルまでのグループにはサポーターが付き、会話のお手伝いをします。

◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

日時：2025 年 11 月 17 日(月) 19:00～21:00 (18:30 からオンライン上で開場)

申込期限：開催前週の金曜日まで 会費：無料

世話人：渡部一子氏 松岡優美子氏

申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会までメール（jdg@jdg.or.jp）でお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通り終えた方向けで（新聞記事には間接法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう）、「お試し参加」、聴講のみも可能です。

◇（対面）懇談会サロン テーマ「ドイツ語と日本語におけるコミュニケーションの比較」◇

ー 心象詞が映し出す文化的感覚 ー◇

講師：綿谷エリナ氏（ラジオDJ/エッセイスト）

日時：2025年11月17日（月）19:00～20:30 ※通常開催時と時間が異なります

申込期限：11月14日（金）会場：日独協会事務所内セミナールーム 定員：24名

会費：（公財）日独協会会員 500円 一般 1,000円 ※当日集金いたします。

世話人：木田 宏海 理事

申込み：お名前、（公財）日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の木田理事までメールでお申込み下さい。世話人連絡先：[hi-kida\(a\)aurora.ocn.ne.jp](mailto:hi-kida(a)aurora.ocn.ne.jp) ※(a)は@に書き換えて下さい。

ドイツ語の心象詞が果たす機能に注目し、母語話者がどのようにそれらを使い分けているか、また日本語における会話のスタイルと比較して考察します。更に参加者と一緒に実際の用例を取り上げ、相互に感覚を共有する時間を設けることで、両言語の奥深いコミュニケーション文化を体験的に理解する場としたいと思います。

◇（対面）ドイツ・オーストリアの秋の味覚、フェーダーヴァイサー/シュトルムを味わおう 9◇

日時：2025年11月23日（日）15:00～16:30 （開場：14:45）

会場：日独協会セミナールーム（予定）

会費：【A】イベントチケット（白・ロゼ各1杯＋お好みの1杯＆ドイツパン）： 会員 2,800円／一般 3,800円

【B】お土産付き（白＆ロゼ 各1本）イベントチケット： 会員 7,000円／一般 8,000円

【C】お土産付き（白1本）イベントチケット： 会員 5,000円／一般 6,000円

【D】お土産付き（ロゼ1本）イベントチケット： 会員 5,000円／一般 6,000円

定員：35名（要事前申込）

申込：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申し込みください。

フェーダーヴァイサー（オーストリアではシュトルム）はワインになる手前の発酵途中のお酒です。季節限定の上、長期保存や長距離輸送ができないため、ドイツ国内でも知る人ぞ知る秋の味覚を今年も一緒に味わいましょう！イベントの詳細は協会ウェブサイトをご覧ください。https://www.jdg.or.jp/kds174_20251123/

◇日独間クロスボーダー年金課税セミナー ～ドイツの年金を受給されている方へ～◇

日時：2025年12月12日（金）日本時間 14:00～15:30 開催方式：オンライン（Zoom）

会費：（公財）日独協会会員・ドイツ語講座受講生：無料、一般（非会員）1,000円 定員：40名（先着順）

申込：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込ください。

かつてドイツで勤務し、帰国後ドイツの年金を受給されている方から「最近ドイツ税務当局から、年金に課税するという通知が来たが、どうすれば良いのか分からない」という声を聞きます。これは2017年に発効した新日独租税条約に基づく措置ですが、何故今頃になって、と感じる方も多いようです。本セミナーではドイツに37年間滞在し、長らく日本企業向けに税務アドバイスをやってきた池田良一氏を講師にお招きし、この問題につき解説いたします。（昨年に続き2回目の開催）

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
 2. Sofern notwendig müssen Anmeldungen im Vorraus erfolgen. Anmeldungen werden von uns der Reihe nach bearbeitet.
 3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.
- Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).
E-Mail: jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14.00～17.00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

Datum: Samstag, der 15. November 2025, 11.00-12.40 Uhr deutscher Zeit (19.00-20.40 Uhr japanischer Zeit)

Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen

Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 50TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn Ihr bereits in der Lage seid, Euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf Eure Teilnahme.